



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0025
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第309号

ホームページアドレス <http://www1.com.ne.jp/~mizumaki>

おばあさんが残した言葉 広報 岩本

30年以上前に、若松に住んでいた母の姉のところに1枚の葉書が来ました。戦争前から行方が分からなくなっていた母たちの伯母からでした。

その葉書には、「私は元気です。戦争中は医者の方と沖縄にいました。今も沖縄にいますが、息子は国立大学の先生で仙台にいます」と書いてありました。芦屋町から嫁いだおばあさんは、医者の方と共に沖縄に行き、そこで激しい戦争にあって、生き延びたのでしょう。親族のみんなは、おばあさんは死んだと思っていましたので、母たち姉妹は大喜びで、九州にいる自分達の様子を知らせました。

沖縄からは、おばあさんが自分の形見として書いた書を送ってきました。ところが、その書は全部聖書の言葉でした。

早速九州にいる4人の姉妹で分けたのですが、カトリック信者だからと言うことで私も何枚か貰いました。余りにも見事な書だったので何点かは掛け軸にしました。

その中の一枚に次のような言葉がありました。

「神は愛する者を鞭打ちたもう。へブル書より」

私はとても気に入っているのですが、新共同訳聖書のヘブライ人への手紙にはそ

のような言葉は見つかりませんでした。

昨年秋から連続して主日にヘブライ人への手紙が読まれたので、以前から気になっていた掛け軸の聖句を調べてみました。

ところが、フランシスコ会訳を見ると**12章6節**に良く似た言葉がありましたので、高校生の時に伯母からもらった古い訳の聖書を見ると「**主は愛する者を訓練し、受け入れるすべての子を、むち打たれるのである**」と書いてありました。

沖縄での戦乱を生き抜いたおばあさんが、神を求めこの言葉に辿りついたのではないかと思うと、初めて「**神は愛する者を鞭打ちたもう**」と書いた、おばあさんの心の叫びを聞いた気がしました。

そして真の平和を求めることは本当に厳しいのだということを私たちに教えてくれたような気がしました。これからは、この言葉を私たちに送ってきた、おばあさんの心を大切にしたいと思うのです。

子どもたちのページ	2面
典礼委員会議事録	3面
委員会報告等	4面
乙武洋匡さんの講演	4・5面
ありがとうのプレゼント	5面
教会学校のページ	6面
南相馬ボランティア	7面
おしらせ	8面



子どもたちへのページ

ゆき
雪

ことし ふう なんかい ゆき つ
今年の冬は何回か雪が積りました。

これから積もるかもしれませんね。以前

は九州でも雪がたくさん降りましたが、

最近(さいきん)は少(すく)なくなりました。

聖書(せいしょ)には雨(あめ)や風(かぜ)や嵐(あらし)の話(はなし)は出てき

ますが、雪(ゆき)の話(はなし)はあまりありません。白(しろ)

い色(いろ)を言う(い)ときに「雪(ゆき)のよう(よう)に白(しろ)い」と書(か)

いてあるだけです。パレスチナには今(いま)もあ

まり雪(ゆき)が降(ふ)らないからです。

それならば、聖書(せいしょ)に出てくる街(まち)には雪(ゆき)

が降(ふ)らなかったのでしょうか。みなさんは

雪(ゆき)が降(ふ)ったと思(おも)いますか。1月(がつ)は、

エルサレム(エルサレム)に雪(ゆき)が降(ふ)ったとニュ

ース(ース)でありました。

いちねんじゅうしゅう やま くに
一年(いちねん)中(じゅう) 白(しろ)い山(やま)がある国(くに)、チベット、ネ

パール、ブータン(ブータン)など世界(せかい)一(いち)高(たか)い山(やま)脈(みやく)・

ヒマラヤ(ヒマラヤ)がある国(くに)では、万(まん)年(ねん)雪(ゆき)がある白(しろ)

い山(やま)には神(かみ)様(さま)がいると思(おも)われています。

ブータン(ブータン)という国(くに)では国民(こくみん)が「白(しろ)い山(やま)

ひと のぼ じぶん わる お
に人(ひと)が登(のぼ)ると自分(じぶん)たちに悪(わる)いこと(こと)が起(おこ)

るで、登(のぼ)るの(の)を禁(きん)止(し)して(して)ください」と言(い)

たので、ブータン(ブータン)政府(せいふ)が 1993年(ねん)に登(とん)

を禁(きん)止(し)する(する)こと(こと)になりました。そのた(ため)、

だれ のぼ せかい いちばんたか
誰(だれ)も登(のぼ)ったこと(こと)がない世界(せかい)で一(いち)番(ばん)高(たか)い

山(やま)はブータン(ブータン)国(くに)にあり(あ)ります。

よぶん はなし にほん
余(よ)分(ぶん)な話(はなし)ですが、日本(にほん)では、ほとん(ほとん)ど

の山(やま)に名(な)前(まえ)が(が)あ(あ)りますが、ブータン(ブータン)は

く(くに)に(に)じゅう やま いちねんじゅうゆき
国(くに)中(じゅう)が山(やま)な(な)ので一(いち)年(ねん)中(じゅう) 雪(ゆき)があ(あ)る

いじょう やまいがい やま なまえ
6000m(6000m)以上(いじょう)の山(やま)以外(がい)は、山(やま)に名(な)前(まえ)があ(あ)

りませ(ませ)ん。

やま ゆき ひと おお めぐ
山(やま)の雪(ゆき)はふも(ふも)との人(ひと)たち(たち)に大(おお)きな恵(めぐ)

み(み)を(を)くれ(くれ)ます。飲(の)み水(みず)や 焔(はたけ)を(を)うるお(お)して

くれ(くれ)ます。だ(だ)から、恵(めぐ)み(み)を(を)くれ(くれ)る白(しろ)い雪(ゆき)山(やま)

には神(かみ)様(さま)が(が)い(い)ると考(かん)が(が)え(え)た(た)ので(ので)し(し)ょう。そ

れ(れ)が、そ(そ)んな山(やま)には誰(だれ)も登(のぼ)

ない理(り)由(ゆう)の(の)一(ひと)つ(つ)で(で)し(し)ょう(しょう)ね。

みなさん(みなさん)は、神(かみ)様(さま)はど(ど)こ(こ)に(に)い(い)る(る)のだ(のだ)ら(ら)う

と考(かん)が(が)え(え)た(た)こと(こと)はあ(あ)り(り)ませ(ませ)んか。



2012年度 第8回 典礼委員会議事録

開催日時：2013年2月6日(水) 19:30 場所：信徒会館

出席者：竹森神父、山本、樽角、三谷、安永、俵、矢田

《報告事項》

1. 典礼研修会(典礼部会主催) 2月10日(日) 午後2時 小倉教会
講師：白濱 満神父(日本カトリック神学院院長)
テーマ：信仰年にあたり『ミサ典礼と私たちの信仰』
2. 教会オルガン調律済み 1月31日(木) 調律料 50,710円(交通費込み)
3. 灰の水曜日：2月13日 灰の式とミサ 9:30 19:30
4. 年の黙想と共同回心式：3月2、3日(土、日) 中村克徳神父(黙想の家)
講話：土曜日(1回目) 14:00~16:00 19:00~21:00
日曜日(2回目) ミサの後
共同回心式：講話の後 11:30くらいから司祭3名
*この回心式に与れない場合は、後日子供のゆるしの秘跡の際、あずかることができる。
*希望者は日曜日ミサ前9:15位までに、司祭館でゆるしの秘跡を受けることができる。
5. 社会問題を考える青年の集まり(名称変更)→イスラエルを考える青年の集まり
2ヶ月に1回程度 三谷氏担当

《審議事項》

1. 司会当番表の確認(訂正と交代など 聖堂後ろに掲示中)
2. 四旬節(2月13日~3月17日)十字架の道行(ミサ前9:10より当日の司会が先唱)
3. 聖週間の典礼：役割分担など(別紙)
4. 黙想の家研修会(中村克徳神父)：「信仰の喜び」(キリストと出会う喜び)
日程：4月29日(昭和の日)(午前10時より午後3時半くらいまで)
目的：身近にいる未信者にも声をかけてキリスト教信仰への理解を深める。
森の散策と十字架の道行、ザビエル聖堂見学など。
内容については、参加希望者の要望にあわせる。
費用：1,000円(昼食代)+300円(入館料)=1,300円
但し、未信者の入館料は無料、午前だけの参加は入館料のみ。
申込：申込用紙に氏名と参加形態を記入して典礼委員に提出する。
5. 信徒総会后より典礼委員長の交代

次回予定 2012年度第9回典礼委員会 3月6日(第1水曜日) 19:30

委員会等報告

2013年2月分

2月度小教区委員会

2月3日

1. 先月の行事報告

- ・1月1日(火) 車の祝福式。ミサ後新年会
- ・1月27日(日) 牧山神学生送別会。

2. 議題

●役員改選について

- ・2月24日(日)役員改選についてお知らせ
- ・3月3日～17日まで受付期間とする。
- ・立候補者は神父か岡部委員長に申し出る。
- ・3月24日(日)投票

●地区集会について

- ・役員改選について、地区委員選出について話し合う。・地区委員変更は、総会后から。

3. 各委員会から

●セシリア会より

1月31日(木)オルガンの調律をした。

●納骨堂委員より

納骨堂利用者集会を4月21日(日)にする。

●財務より

「聖書と典礼」を今までは普通サイズ170部、大20部頼んでいたが、普通サイズ110部、大50部に変更する。

●営繕委員より

1月5日(土)楠の木を切った。

4. これからの活動

3月2日(土)黙想会 黙想の家中村神父
午後2時～4時、午後7～9時

3月3日(日)黙想会

ミサ後～12時。共同回心式もあります。

3月17日(日)小教区委員会

3月28日(木)聖木曜日 午後7時30分

3月29日(金)聖金曜日 午後7時30分

3月30日(土)聖土曜日 午後7時30分

3月31日(日)復活の主日 午前10時

5月26日(日)信徒総会



乙武洋匡さんの講演

矢田 公美

2月11日乙武洋匡さんの講演を聴きました。彼が早稲田大学の学生の時に書いた「五体不満足」を読んでいたので是非お話を聞きたいと思っていました。乙武さんは輝くような笑顔がいい人です。「チャレンジ精神を忘れずに」というタイトルでした。彼の両手両足は、二の腕、大腿くらいまでです。彼にとって日常のすべてがチャレンジでしょう。

現在37才で2児(5才、2才男の子)の父親だそうです。彼の子供は、ご自身が感心するほど大変面倒見が良く、長男は1才半の頃から父親がトイレに行くときにパンツを後ろから下ろしてくれたり、ひげそり、眼鏡かけ、シャツのボタンを一つ一つ留めるなど手伝ってくれたそうです。彼は、外では電動車椅子で移動しています。ニュースなどで見た方もあるでしょうが、卒業後はスポーツキャスターをしていたようです。その間小学校の教員免許を通信制で取得して、3年間杉並区の小学校に勤務されました。小学校での教員体験として、給食をどうやって食べたかとか、水泳指導で水に顔をつけたがらない子供のために彼が飛び込んで5メートルくらい泳いで見せたことなどが話されました。東日本大震災の後、ボランティアとして復興の手伝いが出来ないの、何が出来るか考えてプロ野球の始球式に挑戦したそうです。手はなくても左利きなので、左の二の腕とほおにボールをはさんで投げるところが映像で写されました。(5面下へ)



ありがとうのプレゼント



横浜教区 神学科1年 牧山 善彦

昨年の4月から今年の1月まで、竹森神父様をはじめ水巻教会の皆様が大変お世話になりました。まず、心から感謝申し上げます。また、最年少でまだまだ未熟な神学生ゆえに何かとご迷惑をお掛けしたかと思えます。ご容赦下されば幸いです。

水巻教会の共同体は家族的で親しみのある、とても居心地のいい教会だったなぁと改めて感じています。何をするともなくのんびりとしたミサ後のお茶のひととき、それとないお互いの気遣い、大掃除や行事など何かがある時には多くの人が協力しながら取り掛かる姿、子どもたちの遊ぶ声などなど。自分はかなり人見知りをする性格ですが、何か自然と教会共同体のなかに入れていただいたように感じていました。最初の実習で語った「水巻教会共同体という家族のひとりとして過ごしたい」という思いに対する不安は、すぐに迎え入れられた感謝へと変えられたような気がします。

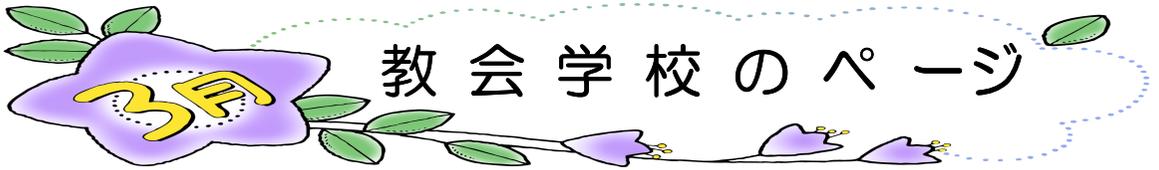
この実習中、よく自分が担当した堅信のクラスや教会学校で、また幾度かのミサ中の教話で、「夢」と「ありがとう」について、拙いながら話をさせていただきました。それは私自身、水巻教会で過ごす時間のなかで言い尽くせないほどの「ありがとう」を感じていたからであり、水巻教会の皆様と一緒に未来の教会への「夢」を見続けていきたいと思われたからでもあります。ですが、神父様や他の多くの神学生にはまた別の一緒に叶えたい「夢」があり、皆様の間にも多くの「夢」があるのだらうと思えます。そんな多くの人の「夢」への思いと「ありがとう」の思いが重なり合うなかで、最後はみんなで「イエス様の望んだ夢」「イエス様へのありがとう」を叶えていければと願っています。

まだまだ召命の道半ばの私達神学生と、この道を歩むことを少しでも夢見ている人々とを、これからも祈りのうちに支えてくだされば幸いです。本当にありがとうございました。



(4面より続き)だれでも困難に直面した時、二つの選択肢があります。一つは、努力してやってみる。もう一つは言い訳をして逃げる。彼は自分との約束として、言い訳をして逃げることはしない、と言っています。

質問時間の終わりに、一人の子供が手を挙げました。「ぼくは小学2年生です。左手を怪我していますが、乙武さんは自分の障害をどうやって乗り越えたのですか？」福津市のカメラリアホールは、当日定員オーバーの満席でした。大聴衆の前での発言に、乙武さんがまず驚いて、「きみは、小学2年生で、もの怖じせずによく話が出るね。すばらしい。そうねえ、きみのお父さんお母さんが後ろでウンウンとうなずいていらっしゃるように、ぼくも両親や周りの人たちに支えてもらったからね。」(聴衆の大拍手)乙武さんの新しいチャレンジは、映画出演です。3年間の小学校教員体験を元に書いた「だいじょうぶ3組」という彼の自伝的小説が映画化されて2月23日から東宝系で封切りになるそうです。赤塚真之介という障害のある新任教師役は、彼しか務まらないので、乙武さんの映画初出演となったそうです。



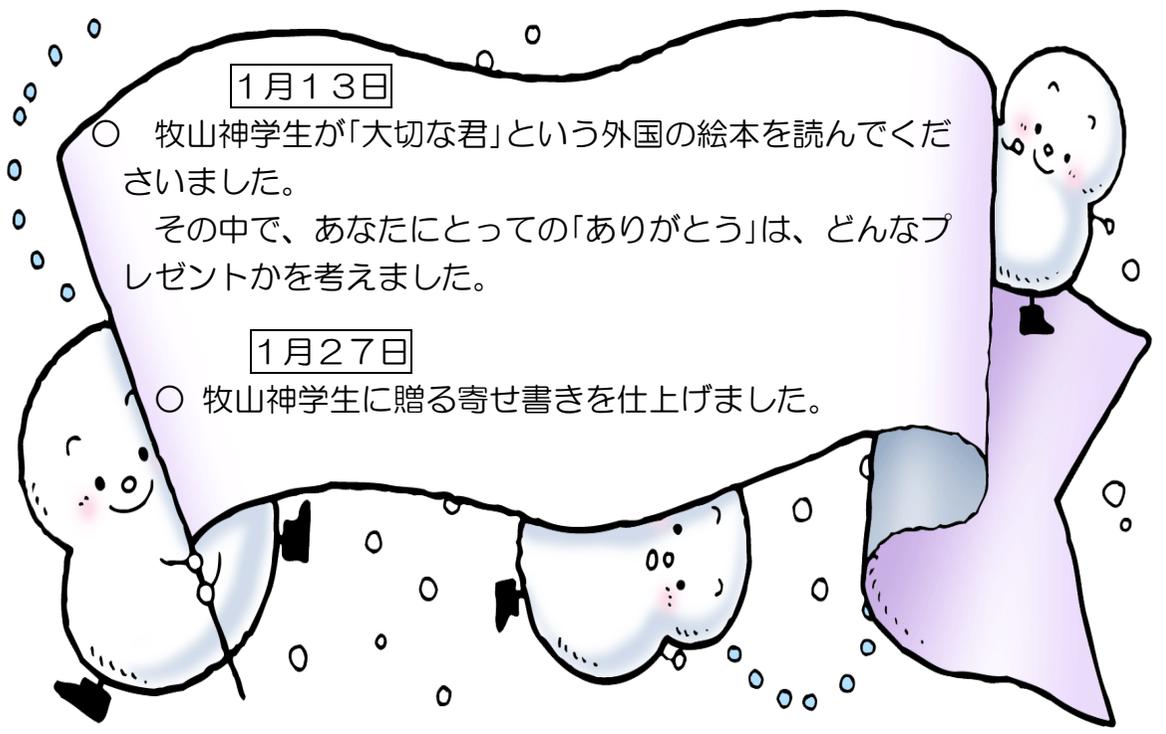
1月13日

○ 牧山神学生が「大切な君」という外国の絵本を読んでくださいました。

その中で、あなたにとっての「ありがとう」は、どんなプレゼントかを考えました。

1月27日

○ 牧山神学生に贈る寄せ書きを仕上げました。



2月10日

○今日の福音（ルカ5章1～11）

- ・出席者4人で、順番に読みました。
- ・次のことばを復唱しました。

「おことばですから そのとおりにしてみましよう」といつもお答えすることができますように。

また、「イエス様を信じてついていくことができますように」と。

○最後に、主の祈りとアベマリアの祈りと栄唱をとなえました。



南相馬ボランティア、そして年末募金活動へ

三谷 尚

すでに投稿させて頂いたとおり、私はH24年3月(宮城県南三陸町志津川漁港;ベースは“米川ベース”)で漁業支援を中心とするボランティア活動をさせて頂きましたが、次に昨年末の11月には福島県南相馬市;ベースは東京教区の開設した“原ノ町ベース”、および移動して宮城県巨理町で除草作業と仮設住宅の訪問をしました。

初日は、福島第1原発事故のためH24年4月までは警戒区域であった南相馬市南部の小高地区(原発から20km圏内)にある農家の周りの除草作業であり、1年間入れなかった場所でもあって、18人が5時間かけて行いました。この近辺の風景は津波被害と違って人影がないだけですが、それが恐ろしい原発事故の結果ということがよく分かりました。

なお、南相馬では毎朝6時半、近くのカトリック原ノ町教会のミサに参加。私の様な者でも神聖な気分に入りつつボランティア活動ができました。



南相馬市・原ノ町教会、早朝のミサ前



南相馬市鹿島地区の仮設住宅訪問

2日目は私にとって最も価値あるもので、南相馬の北部・鹿島地区、および仙台近郊の巨理町に移動しての仮設住宅慰問でした。ギターと歌ができる方が演奏披露、かつ、私はお茶等を注いで周り、加えて1時間ほど「傾聴」(悩みや、津波の恐ろしさを聴くこと)を行いました。パツとしないおじさんの様な私に、年長のおばさんたちが、津波の時の恐ろしさを話してくれ、悩む心を開いてくれました。

仮設住宅に作られた「商店街」は、半年前の南三陸では微笑ましく見ましたが、最近では廃れている様です。仮設住宅に暮らす人々には、まだまだ長い支援が必要です。

さて12月には、水巻教会信徒によるグランモール水巻での募金活動が行われ、募金の大部分は東日本震災の支援に充てられました。私自身、募金活動の現場で、「カトリック教会が東北の各所にベースを開設し、復興支援を継続しています!」と、自らの見聞してきた事を、大きく声に出して言えることはうれしかったです。おかげ様で、共に募金活動をした方々の数は多く、募金額も非常に大きなものとなりました。

なお、私は来る3月にも南相馬原ノ町ベースにてボランティア活動の予定です。



3月のおしらせ



★特別献金★

1月27日 児童福祉献金
35,400円
ご協力ありがとうございました。

★黙想会・共同回心式★

日時 3月2日(土)
14時~16時・19時~21時
3月3日(日) 9時半~
主日のミサと共同回心式があります。
指導司祭 中村克徳神父(黙想の家院長)

★聖週間のお知らせ★

24日(日)(受難の主日) 9時30分より
28日(木)(聖木曜日) 19時30分より
29日(金)(聖金曜日) 19時30分より
30日(土)(復活徹夜祭) 19時30分より
31日(日)(復活の主日) 10時より



映画「ローマ法王の休日」(字幕)

昨年の夏に公開された「ローマ法王の休日」が、期間限定でユナイテッドシネマなかま16で上映されます。現ローマ法王ベネディクト16世の退位が知らされていますが、タイミングがちょうどあった上映になりそうです。

ローマ法王死去後、バチカンで開催される法王選挙(コンクラーベ)。そこで新法王に選ばれたメルヴィル。彼は早速バルコニーにて大観衆を前に演説をしなければならないが、あまりのプレッシャーにローマの街に逃げ出してしまい・・・

あわてた事務局広報は街中に捜索の網を張る。一方メルヴィルは街の人々との触れ合いを通し、人生とは、人の信仰心や真心とは、そして“法王”の存在意義とは何かを見つめ直していくが、演台に戻らなければならない時間が迫っていた。果たしてローマの街で彼が見つけた大切な答えとは・・・

上映期間は、3月23日(土)から29日(金)です。上映時間は映画館にお問い合わせください。映画代は、一般・大高生は1000円です。(会員・小人・シニアの方は800円)

★ホームレス支援炊き出し★

日時：3月8日(金) 10時より
場所：水巻教会 信徒会館
多数の方のお手伝いをお願いします。

★黙想の家 研修会★

日時：4月29日(月) 10時~15時30分
場所：宗像市 黙想の家
詳しいことは、3面に載せています。
また、来月号でもお知らせします。

人-ひと

【転入】ようこそ！水巻へ

◇堀川 ハルノさん 遠賀地区へ

【転出】お元気で！

◇西野 直子さん(中間地区)

広島教区防府教会へ